

公益社団法人日本語教育学会 日本語教育グローバル人材奨励プログラム
2019 年度応募要項

日本語教育グローバル人材奨励プログラムとは

日本国内の日本語教育分野の若手研究者・実践者(個人もしくはグループ)が海外の日本語教育現場で様々な活動を行う際の費用の一部または全額を助成するプログラムです。なお、本プログラムは、当学会国際連携委員会の企画および一般社団法人尚友倶楽部の助成により、実施されます。

本プログラムの趣旨

日本語教育は海外と深い関わりを持つ分野であることから、日本の若い方々に積極的に世界に目を向けてもらいたいと考えています。また、これからの日本語教育では、目の前の学習者や特定の研究課題だけに集中するのではなく、グローバルな視野で世界各地の日本語教育関係者と協働することのできる人材が必要とされており、社会的にも求められています。そこで本プログラムでは、特に海外の日本語教育に触れた経験の少ない研究者・実践者、また研究者・実践者を目指す方々が、世界各地の日本語教育現場や研究の場に赴き、実践・研究をしている関係者と交流したり、研究成果を共有したりするなどの活動を支援します。

本プログラムの目的

海外の日本語教育の現状を知り、そこで活動する関係者とのネットワークを構築することを通して、グローバルな視点で協働的实践や研究ができる人材を育成すること。

助成対象・金額

2019年7月1日から2020年3月31日の期間に実施・終了する下記のような活動を助成対象とします。

- ・海外での学会等における発表、セミナー・ワークショップ等での研究や実践の交流もしくは企画・開催
- ・海外の教育機関での日本語教育の動向に関する実態調査
- ・研究者・実践者への聞き取り調査、実践例の収集など

助成金額は、1人あたりアジア地域*は上限10万円(グループは20万円)、その他の地域は上限20万円(グループは40万円)です。

*アジア地域：アフガニスタン、インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マカオ、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス

応募資格

以下の項目のすべてに該当する方、または以下の項目に構成員全員が該当するグループです。

- ・日本在住である(ただし、在留資格が「留学」の方はグループの一員としての参加のみ可)
- ・応募締め切り日時点で40歳以下である
- ・現在、日本語教育関連領域の研究・実践に取り組んでいる、またはそれを目指している
- ・助成時に当該年度の年会費を納めている日本語教育学会員*である

* 本学会会員以外も応募可。ただし、本プログラム採択後、助成時まで(グループの場合は全員)入会してください。

活動期間

2019年7月1日(月)～2020年3月31日(火)(この日までに必ず帰国すること)

助成金の使途

助成対象となる費目は以下のとおりです。

- ・旅費：海外渡航費、各国内での移動交通費・宿泊費。宿泊と分離不可の食費も含まれます。
- ・他の機関・団体等の助成金の規定に従い、本助成金を費目の一部に充当利用することも可能です。

助成条件

助成される際の条件*1は以下のとおりです。

- ①採択された計画通りに活動を実施すること
 - ②帰国後すみやかに活動の(a)実施内容と経費報告および(b)成果報告を作成、提出すること
- (a) 活動の具体的な実施内容と経費の内訳をA4一枚程度にまとめてください。
- (b) 成果報告：本学会ウェブサイトの「世界の日本語教育」もしくは「海外の学会から」*2に掲載する原稿を作成してください。「世界の日本語教育」の場合は、国際的なネットワーク基盤の構築の観点から、訪問先機関の実践者らと共同執筆してください。

*1 特別な理由がなく計画が大幅に変更された、あるいは報告・原稿が提出されない場合、助成金の全額返還を求められることがあります。

*2 「世界の日本語教育」/「海外の学会から」 <http://www.nkg.or.jp/kenkyusha/keisainaiyo#sekai>

申請方法

・提出書類

- ①申請書(目的、スケジュール、訪問機関名、活動概要など)の書式を本学会のウェブサイトよりダウンロードしてください。 <http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/global-application.docx>
- ②現地での活動計画の実行を保証するもの(機関承諾書(訪問受け入れを承諾するメールのコピーでも可)、学会案内、調査概要など)

・提出先：メールのタイトルを「グローバル人材申請書」とし、上記①②を添付の上、下記まで提出してください。

日本語教育学会 国際連携委員会 office@nkg.or.jp

・受付期間：2019年4月1日(月)～2019年5月29日(水) 日本時間 23:59 必着

助成の採否

助成採否および金額は、本プログラムの審査委員会で申請書類を総合的に判断した上で決定し、6月下旬頃に申請者(グループの場合は代表者)全員に通知します。採択件数は4～8件を想定しています。

お問い合わせ：日本語教育学会事務局 奥山 okuyama@nkg.or.jp

以上